

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○					○	○		○		○		○

企業の概要

企業・団体名	株式会社バーナードソフト	本社所在地	北海道
業種	情報通信業	総従業員数	25名
事業概要	システム開発、サーバ開発、スマートフォンアプリ開発、自社製品開発		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則
テレワーク担当部署	管理部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	25名
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2020年2月以前: 育児・介護のためのテレワーク制度を検討
- 2020年4月: コロナ禍のため(北海道札幌市緊急共同宣言)テレワークを実施
- 2020年4月~10月: 全員在宅、交代制出社など複数パターンでテレワークの実施可否を確認、体制の見直し
- 2020年11月~随時: 交代制出社など感染状況に合わせてテレワークを活用
- 2021年現在: 全社員月5日間選択制でテレワークを活用

テレワークの概要・特徴

- 全社員月5日間選択制でテレワークを活用している
- テレワーク従事者は業務開始時・終了時にチャットツールで報告している
- テレワークに必要な機材は会社で貸与している
- チャットツールやWeb会議ツールを使用し、出社時と変わらないコミュニケーションが取れるようにしている
- 出社時と変わらないネットワーク環境を提供している
- 元々業務ツールを活用していたため、業務遂行・進捗管理に支障はなかった

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 全社員がテレワークを体験したことで、実施にあたっての課題や実際に起きうる課題を洗い出し、制度を見直すことができた
- コロナ禍であっても社員の健康を守り、事業に影響を与えず継続することができた
- 全社員がテレワークできる体制・環境を構築できたことで、今後感染症拡大や災害時も事業継続ができるようになった